

平成28年度低 NO<sub>x</sub>・低 CO<sub>2</sub> 小規模認定機器の販売製造状況について

認定要綱第10条の規定に基づき、認定書の交付を受けた者から報告された認定機器の製造及び販売の状況の概要は以下のとおりである。

## 1 報告対象機器数

(1) 低 NO<sub>x</sub>・低 CO<sub>2</sub> 認定機器

平成20年度の制度開始以降、平成28年度末までに認定した機器（代表型式）は508型式であり、このうち平成28年度の製造販売状況報告の対象機器（平成27年度末までに製造中止となった機器を除いたもの）は458型式である。

(2) 低 NO<sub>x</sub> 認定機器

平成元年度から平成19年度までの間に低 NO<sub>x</sub> 認定機器として認定した機器数は、代表型式で1,215型式であり、このうち、平成28年度の報告対象機器（低 NO<sub>x</sub>・低 CO<sub>2</sub> 認定機器へ移行した機器及び平成27年度末までに製造中止となった機器を除いたもの）は、合計214型式である。

## 報告対象機器型式数（平成29年3月末現在）

	低 NO <sub>x</sub> ・低 CO <sub>2</sub> 認定機器						
	合計	平成28年度以降			平成27年度以前		
		計	グレード AA (超低 NO <sub>x</sub> ・超高効率)	グレード A (低 NO <sub>x</sub> ・高効率)	計	低 NO <sub>x</sub> ・ 超高効率	低 NO <sub>x</sub> ・ 高効率
蒸気ボイラー	122(168)	64(83)	32(35)	32(48)	58(85)	29(39)	29(46)
内 5 m 以上	79(104)	42(52)	25(27)	17(25)	37(52)	29(39)	8(13)
内 5 m 未満	43(64)	22(31)	7(8)	15(23)	21(33)	0(0)	21(33)
温水ボイラー	13(70)	7(20)	2(12)	5(8)	6(50)	5(48)	1(2)
内給湯器	7(60)	2(12)	2(12)	0(0)	5(48)	5(48)	0(0)
内貯湯式	6(10)	5(8)	0(0)	5(8)	1(2)	0(0)	1(2)
温水発生機	80(410)	29(244)	9(69)	20(175)	51(166)	4(11)	47(155)
冷温水発生機	135(1604)	55(302)	16(74)	39(228)	80(1302)	50(1064)	30(238)
ガスヒートポンプ (GHP)	103(3360)	41(876)	15(453)	26(423)	62(2484)	54(1791)	8(693)
ジョイントエネルギーユニット (CGU)	5(20)	2(6)	—	2(6)	3(14)	—	3(14)
合計	458(5632)	198(1531)	74(643)	124(888)	260(4101)	142(2953)	118(1148)

※（ ）内は全型式数

※平成26年度以前に低 NO<sub>x</sub> 低 CO<sub>2</sub> 認定を取得した機器で、平成27年度以降に認定を再取得した機種は、平成27年度以降の欄に計上

## 2 販売台数

平成 28 年度の低 NO<sub>x</sub>・低 CO<sub>2</sub> 認定機器の全国販売台数は 42,636 台、都内販売台数は 5,845 台であった。また、低 NO<sub>x</sub> 認定機器の全国販売台数は 10,029 台で、都内販売台数は 1,951 台であった。

全国販売台数（平成 28 年度実績）

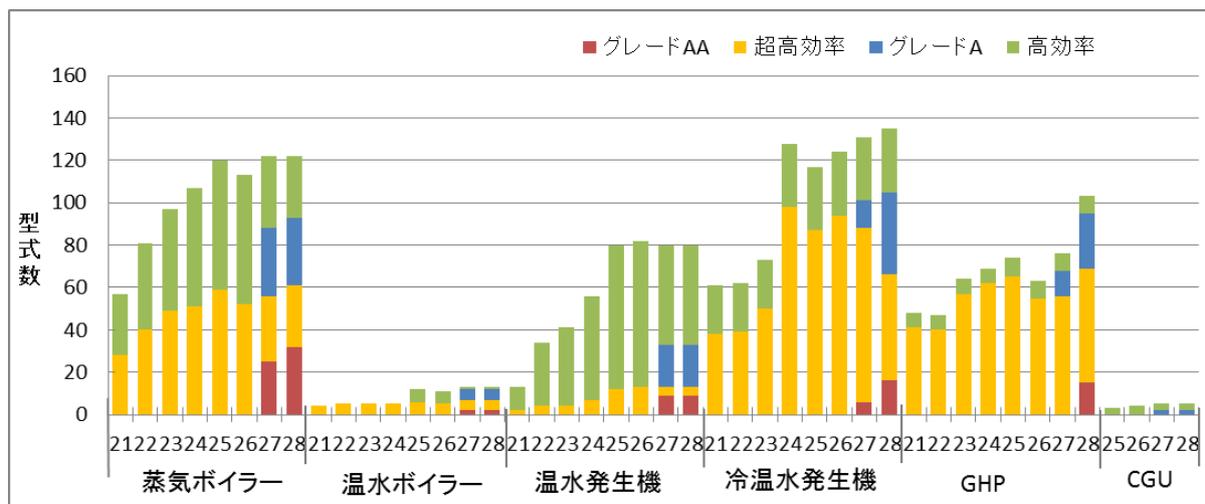
	低 NO <sub>x</sub> ・低 CO <sub>2</sub> 認定機器						
	合計	平成 28 年度以降			平成 27 年度以前		
		合計	グレード AA (超低 NO <sub>x</sub> ・超高効率)	グレード A (低 NO <sub>x</sub> ・高効率)	合計	低 NO <sub>x</sub> ・ 超高効率	低 NO <sub>x</sub> ・ 高効率
蒸気ボイラー	2,181	1,765	1,064	701	416	199	217
内 5 m <sup>3</sup> 以上	1,327	1,117	815	302	210	199	11
内 5 m <sup>3</sup> 未満	854	648	249	399	206	0	206
温水ボイラー	14,443	12,398	12,338	60	2,045	2,001	44
内給湯器	14,339	12,338	12,338	0	2,001	2,001	0
内貯湯式	104	60	0	60	44	0	44
温水発生機	949	401	134	267	548	42	506
冷温水発生機	601	484	68	416	117	95	22
ガスヒートポンプ	24,218	20,980	4,601	16,379	3,238	2,594	644
C G U	244	113	—	113	131	—	131
合計	42,636	36,141	18,205	17,936	6,495	4,931	1,564

都内販売台数（平成 28 年度実績）

	低 NO <sub>x</sub> ・低 CO <sub>2</sub> 認定機器						
	合計	平成 28 年度以降			平成 27 年度以前		
		合計	グレード AA (超低 NO <sub>x</sub> ・超高効率)	グレード A (低 NO <sub>x</sub> ・高効率)	合計	低 NO <sub>x</sub> ・ 超高効率	低 NO <sub>x</sub> ・ 高効率
蒸気ボイラー	272	210	100	110	62	8	54
内 5 m <sup>3</sup> 以上	98	86	71	15	12	8	4
内 5 m <sup>3</sup> 未満	174	124	29	95	50	0	50
温水ボイラー	2,391	2,145	2,143	2	246	237	9
内給湯器	2,380	2,143	2,143	0	237	237	0
内貯湯式	11	2	0	2	9	0	9
温水発生機	164	45	12	33	119	4	115
冷温水発生機	91	77	5	72	14	10	4
ガスヒートポンプ	2,881	2,465	461	2,004	416	273	143
C G U	46	16	—	16	30	—	30
合計	5,845	4,958	2,721	2,237	887	532	355

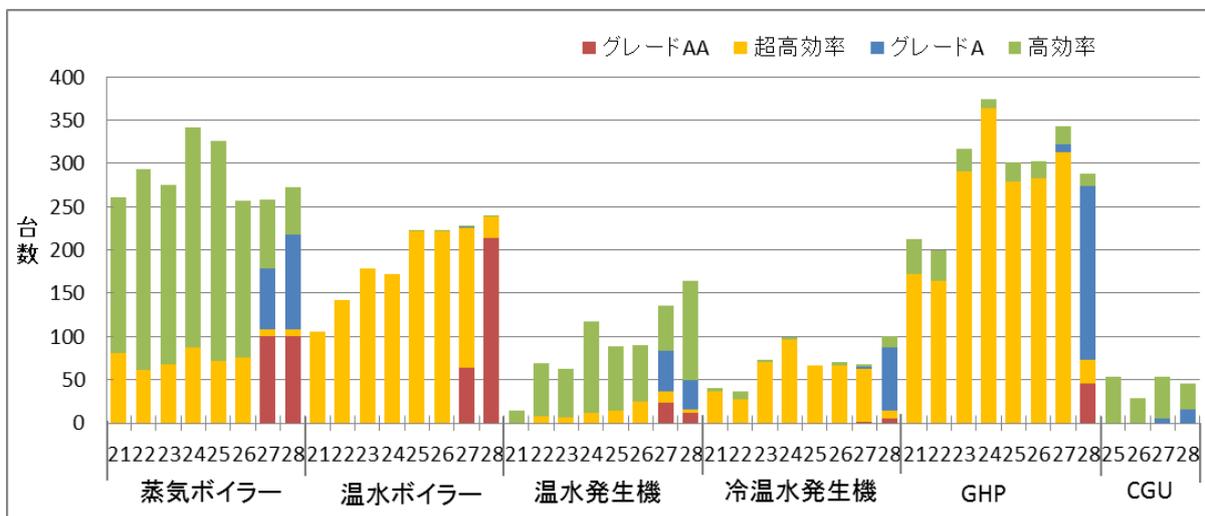
### 3 低 NOx・低 CO<sub>2</sub> 認定機器の報告対象機器数及び都内販売台数の推移

#### (1) 報告対象機器数（代表型式数）の推移



いずれの種類のも機器においても、低 NOx・低 CO<sub>2</sub> 認定制度の製造事業者への認知が進み、対応した機器が開発、申請されたことにより報告対象機器数が増加してきた。ここ数年は、GHPで増加傾向がみられ、その他の種類の機器は横ばいとなっている。

#### (2) 都内販売台数の推移



\* 温水ボイラー及びGHPの都内販売台数は、目盛×10（台）

都内販売台数の多い温水ボイラーは、販売台数のほとんどを超高効率及びグレード AA の機種が占めている。また、冷温水発生機及びGHPは、平成27年度以降に新基準で認定を再取得した際、超高効率区分からグレード A 区分となった機種の販売台数が大きかった。